

## 原文

### 指摘事由

「南伝仏教」という概念を、仏教の伝播ルートだけをさすと誤解する恐れのある表現である。

大乗仏教は、中央アジアをへて中国、朝鮮半島、日本へと伝えられた。(北伝仏教)。また、スリランカから東南アジア各地に広まった。(南伝仏教)。東南アジアでは、古くは大乗仏教と部派仏教がいりまじっていたが、現在ではおもに上座部仏教(部派仏教の一派)が信仰されている。

## 修正文

大乗仏教は、中央アジアをへて中国、朝鮮半島、日本へと伝えられた(北伝仏教)。また、上座部仏教(部派仏教の一派)は、スリランカから東南アジア各地に広まった(南伝仏教)。東南アジアでは、古くは大乗仏教と部派仏教がいりまじっていたが、現在ではおもに上座部仏教が信仰されている。